

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

この資料に企業 ライセンス マネージャ (ELM) の間違っただけにインストールされているライセンスを取除く方法を記述されています。 混合を防ぐために間違っただけからこれらのライセンスを取除くことは必要です。

前提条件

要件

Cisco は Cisco Unified Communications Manager (CUCM) バージョン 9.x の知識があることを推奨します。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CUCM バージョン 9.x に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

問題

各 Call Manager ノードの ELM の例があるので、時々ライセンスは間違っただけノードに対応づけられません。 たとえば、ライセンスはサブスクライバのパブリッシャの ELM の例のの代わりに ELM の例に対応づけられるかもしれません。

解決策

特定のノードの ELM の例からすべての ELM ライセンス情報を取除くためにこれらのステップを完了して下さい:

1. CUCM CLI へのログイン。
2. コマンド
`license management reset registration`
3. プロンプト表示された場合、Y を質問に応じて入力し、『Enter』を押して下さい。これにより ELM はリセットします。
4. ELM Webページはリセットが完了した後起動します。
5. ELM Webページがバックアップのとき、ログインは、**Synchronize Now** ボタンを押し。

このノードのライセンスは同期が完了する後行きます。ELM はまだ**ライセンス 管理**の下でライセンスをロードしたときに **historial** トランザクションをのための示します ----> **ライセンス**。ただし、実際のライセンス 使用量データ (**モニタリング** ----> **ライセンス 使用方法**) クリアされ、ELM はこのノードのための <Demo mode> に戻ります。